敬付雲水録

六

へ13
3942
5

門へ13
號3942
巻5

參議學

大正十年八月廿九
本大學出版部

[illegible]

[illegible]

同係

一 一[illegible]院[illegible]年[illegible]の事

并 [illegible]年[illegible]の事

一 [illegible]年毎の[illegible]の事

并 [illegible]の事

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
又りや 素[illegible]の[illegible]
家中 [illegible]
[illegible]
主人の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中にも自害すべし
たとへば如来滅度の後
諸人をして悪鬼の
たぐひ入れりと思
もし善男子命終して和尚
法華経の
結縁のごとく
つぎの果しの
西を女人
市にも諸人を対
面して
と元法師の
の身の果
たちまち
四四十年
五十後年
二十三年
法華経

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きく、言葉に雷公は遁甲不可思議
の術をつかひ、ものの者に化
おもしろい事、神の形ちにて空
にうかびて雲に乗り家
内をうかがひ、ひとり身の者
をたぶらかす、家内の者
ものの怪に成て、
あるひは、ひげ
をはやしてつらの
ごとく、
一名ものぶ、
神の事、
きくに上古に二つ
あり、
あるひは、
上古より
あれば、
ばけものの
仕人の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

生まれいでしより向泉寺の
長老の弟子となりて
ありしが其後の年
しらねども
知れども
人のうへも我をば
法師なれば
が又師の師の

去る十三日年号改元の事
俗人と雖も聞及ぶべきと
思召れ候間 今日申渡す
一 新年号 元亨 と
唐土の書 何れも
唐土にて流行 右の長短
十八日の夜 文章博士
右大弁 宣房卿
仰せ下されけるとて 宣
御所の門 内侍所
宣房卿 御使 長
俗人 聞知 長
今の世 文不捨 長
世人 申 世俗 事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世の事のうつり行くやうを書
の跡とて筆とるとてせどう
そこに書きたるかの事蘭信寺が
ものを給ひて出家をとりて
寺の一宇を首ぐまいらせ給き
給へしをうけたまはりて
ぞうしあれば法華堂をいとをを
宮寺のうつりの事

うぢ山の寺の事
ぬぐ山の寺は
ぬんをを仏ひ有
千部ふけりたる
乗寺の流をいとぐ山寺も行
ぞうふ殺をうをを宮ふい首殺き
山新殺をしをうぐ国ぐ殺に
ものをして師の山寺の切れをを
たをを静ふ不ひて和四の戸
ををして宮寺のうり山新をして拾を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人数の御行ゆへ
上方表不届
なるまじ御ゆへ
あるべき事
世間にて是より
乱高下
三倍に二文の石場米四つ
値下りの人相年の
うるうの年
米価安
海上も
まき
実新米

[illegible]

[illegible]

[illegible]